

1月の天候

2022年（令和4年）1月の日本の天候は、気温は、東日本で低く、沖縄・奄美で高くなりました。降水量は、北日本日本海側でかなり多くなりました。日照時間は、西日本日本海側でかなり多くなりました。

2022年（令和4年）1月の天候の特徴は以下のとおりです。

○気温は、東日本で低く、沖縄・奄美で高くなりました
東日本では上旬から中旬にかけて寒気が流れ込みやすかったため、気温は低くなりました。一方、沖縄・奄美は下旬に南から暖かい空気が流れ込んだため、気温は高くなりました。

○降水量は、北日本日本海側でかなり多くなりました
中旬は低気圧が北海道付近を通過し、通過後は冬型の気圧配置となることが多かったため、降水量は北日本日本海側でかなり多くなりました。

○日照時間は、西日本日本海側でかなり多くなりました
上旬は冬型の気圧配置が緩む時期があり、下旬は冬型の気圧配置となることが少なかったため、日照時間は西日本日本海側でかなり多く、北日本、東日本日本海側、西日本太平洋側で多くなりました。

別紙（概況、統計値等）[PDF形式:517KB]

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko202201_besshi.pdf

問合せ先：大気海洋部 観測整備計画課 担当 村井（観測値や記録について）
電話 03-6758-3900（内線 4268）
大気海洋部 気候情報課 担当 竹川（天候の解説について）
電話 03-6758-3900（内線 4547）